

学校名 \_\_\_\_\_

学校長名 \_\_\_\_\_

### 教室空気環境調査報告書

調査年月日: \_\_\_\_\_ 年 月 日 ( ) 午前・午後 時 分 天候: \_\_\_\_\_

学校薬剤師名 \_\_\_\_\_

検査目的 : 空気環境調査
検査方法 : アスマン通風乾湿計、カタ温度計、CO2検知器

外気温(終了時) : \_\_\_\_\_ °C 外湿度(終了時) : \_\_\_\_\_ % カタ温度計 F ( \_\_\_\_\_ )

検査場所	階	時間	在室人数	温度 (°C)	湿度 (%)	二酸化炭素 (%)	気流 (m/秒)	窓の開閉	備考	
教室 換気扇 有・無 使用・未使用		:	人	乾球 °C		%	m	開		
		-----		湿球 °C				%		一部開
		:		°C				%		閉
教室 換気扇 有・無 使用・未使用		:	人	乾球 °C		%	m	開		
		-----		湿球 °C				%		一部開
		:		°C				%		閉

- 《基準》 教室の温度 : 冬期では10°C以上、夏期では30°C以下であることが望ましい。  
 また、最も望ましい温度は、冬期では、18~20°C、夏期では、25~28°Cであること。  
 教室の湿度 : 教室内の湿度は、自然換気で30%以下、80%以上でない事が望ましい。望まれるのは50~60%の範囲の維持。  
 二酸化炭素 : 教室内に二酸化炭素の濃度が0.15% (1500ppm) 以下であることが望ましい。  
 気流 : 居住域(床から人の呼吸域)では0.5m/秒以下で、0.2~0.3m/秒程度が望ましい。

[所見]

.....

.....

.....

.....

.....